健康づくり推進協議会 設立される

健康――――。だれもが願っていることです。社会生活を営む最も基本となる大切な要件です。

近年、医学の進歩により日本人の平均寿命は伸びたものの、高血圧や栄養のアンバランスによる肥満等健康をおびやかす要因が多く、社会問題となっております。

このような問題を少しでもなくすよう健康づくり推進協議会を設立し、健康づくりにお手伝いすることになりました。

かけがえのない〝健康〟を大切にし、健康づくりに努めましょう。

くわしくは、厚生課衛生係におたずねください。

㈲　二〇四―〇二

協議会委員

会長　学識経験者　越川　伸
委員　体育協会長　椎名　彰
委員　東陽病院長　桜井　稔
委員　八日市場保健所長　林　芳男
委員　栄養改善協議会長　椎名ナツエ
委員　老人クラブ連合会長　向後　清重
委員　婦人会長　青柳　フミ

講演会を開催

匝瑳郡市歯科医師会

歯――――。日常生活でこれほど大切な歯を、あなたは大切にあつかっていますか。

歯が痛くなると、眠ることも話すこともできなくなり苦しんだこともあるでしょう。

このような人を少しでもなくすよう匝瑳郡市歯科医師会では、次のとおり講演会を開催いたします。気軽においでください。

・日　時　十一月十七日（土）
　　午後一時
・場　所　八日市場市公民館
　　三階大会議室
・講　師　北海道大学、日本大学歯学部
　　講師　鈴木　文雄先生
・演　題
「これからの歯科予防」

読者のコーナー

子を思い　尊き命　海に消ゆ
永遠に守らん　清きたましい

秋の彼岸の前日、今は亡き市原幸次郎さんの墓前を通りますと家族が一生けんめいにお墓を掃除しているのが目につきました。その時、ふと私の胸にうかんだことは、今から十数年前の出来ごとです。

当時、市原さんは白浜小のPTA会長に在職中でした。海水浴に行く子供たちの付添いのために海に行きました。しばらくして一人の子供がおぼれているのをいち早く見つけ、我身の危険も顧みず助けましたが、市原さんは波にのまれ行方不明となり三日三晩の地元の人達の捜索も空しく水死体で発見されました。本当に御家族の方には、気の毒の外ありませんでした。

それから一年後に市原さんの功績をたたえて尾垂浜の砂防林の一角に碑が建てられました。

あれ以来、不思議なほど子供たちの水難事故がありません。

まるで市原さんの魂が永遠に子供たちを見守っている様に思えてなりません。

尾垂浜　一主婦

慶弔

十月十五日現在（敬称略）

◎お誕生

〈部落・赤ちゃん・父親・続柄〉

入　大川　淳子　美智雄　二女
尾垂　伊藤　里美　秀樹　三女
橋場　加瀬　謙次　清二　二男
宝米　布施　文子　政良　長女
芝崎　飯島　幸子　実　二女
作間内向後　有美　秋夫　長女
台　鈴木　祥子　嘉明　三女
橋場　横田　一裕　博　長男
谷中　越川　永悟　旭　二男
古屋　川島由已子　禎男　長女
篠本　伊橋　秀幸　秀和　長男
宮内　越川　智子　寿満男　長女
母子　大木　秀之　寛房　長男
桑郷　小池　義和　幹夫　長男
小田部村上　静香　清嗣　長女

◎ご結婚

〈部落・氏名〉

尾垂　遠藤　充―内山　秀子
橋場　諸星　雅彦―神田　文代
橋場　大木　新治―高橋みどり
木戸　椎名　武夫―関谷　照子
辻　小久保詔平―石井　みち
宮内　藤代　孝一―宇井かつ子

◎おくやみ

〈部落・氏名・性別・年令〉

西高野　馬場　とり　女　81歳
母子　越川　昇　男　67歳
古屋　藤田浪治郎　男　81歳
谷中　伊藤　隼人　男　81歳
原方　伊橋　ゑい　女　64歳
二又　越川　和　男　68歳
西高野　大木　政夫　男　71歳
関　平山　すみ　女　79歳
白磯　鈴木　トミ　女　80歳
辻　実川　孝　男　86歳
関　大木　秀男　男　34歳
原方　伊橋　照次　男　75歳
尾垂　加瀬　勝治　男　84歳
宮内　向田城太郎　男　77歳
宝米　布施　愛　女　68歳
篠本　越川　正倫　男　77歳

町の状況

（10月1日現在）

人口	男	5,794	（－7）
	女	5,910	（＋2）
	計	11,704	（－5）
世帯数		2,840	（－6）

（　）内は前月比